



学校教育目標

○幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」
①健康な心と体②自立心③協同性④道徳性・規範意識の芽生え⑤社会生活との関わり⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり・生命尊重⑧数量や図形・標識などへの関心・感覚⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現

入学当初の児童の姿
・友だちと関わる中で、共通の目的に向けて工夫し、協力している。③
・身近な事象に積極的に関わる中で、新しい考えを生み出す喜びを味わっている。⑥
・絵本や物語に親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、言葉による伝え合いを楽しんでいる。⑨

2026（令和8年度）福山市立春日小学校
スタートカリキュラム

春日小学校 学校教育目標
こころゆたかに、自ら伸びる

春日小学校 めざす子ども像
○課題発見力
・「不思議だな」「何故かな」を見つけることができる。
○論理的思考力
・事柄や時間の順序を整理しながら考えることができる。
○コミュニケーション能力
・自分の思いや考えを相手に伝えることができる。
○ねばり強さ
・自分がやるべきことを、あきらめしないでやり抜くことができる。

培遠中学校区 めざす生徒像
自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる。
○身の周りの事象について、多面的・総合的に考えて課題を見つけることができる。
○将来の進路希望に基づいて当面の計画を立て、その達成に向けて努力することができる。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行事	・入学式・学校探検 ・運動会 ・身体測定 ・地域別児童会 ・1年生を迎える会 ・交通安全教室 ・避難訓練 ・終業式					・始業式 ・社会見学 ・おもちゃ祭り ・マラソン大会 ・音楽発表会 ・学区民運動会 ・終業式					・始業式 ・6年生を送る会 ・新1年生との交流 ・修了式	
育ってほしい児童の姿	1学期 【コ】友だちや先生の話最後まで聞く。 【思】身近なものに積極的に関わる中で、気づきや疑問を見つけている。 【言】自分の知っている言葉や数を積極的に使って表現する。					2学期 【コ】友だちや先生の話最後まで聞く。 【思】気づきや疑問から、物事を予想したり判断したりしている。 【言】姿勢や口形、正しい発声や発音に注意して、言葉を正しく使っている。					3学期 【コ】友だちや先生の話最後まで聞き、自分の思いや考えを相手に伝えている。 【思】自分と異なる考えのよさに気づき、事柄を整理しながら考えている。 【言】言葉の意味を考えて、文や文章の中で使ったり、相手に正しく伝えたりしている。	
主な学習活動（生活科を中心とした総合的・関連的な学習活動の充実	生活科「学校となかよくなるう」（9H） 国語科「どうぞよろしく」（4H） 図工「どんどこかくのはたのしいな」（6H） 算数「なんばんめ」（2H） 音楽「歌って踊って仲良くなろう」（4H） 【コ】・2年生や教員と自己紹介を行う。 自分の名前や好きなものを伝えたり、質問をする時間を設けたりすることで話を聞くこと、伝えることの楽しさを知る。 【思】・学校の部屋を探検する。 小学校にはどんな場所があるのかを発見し、不思議に思ったことや分かったことを声に出して表現する。 【言】・考えたことを交流する。 自分の発見や疑問をクラスの友だちと話し合う。初めて聞いた言葉について共有し、みんなで考えることで言葉の獲得につなげる。 生活科「夏はおもしろいことがいっぱい」（6H） 国語科「こんなものみつけたよ」（2H） 図工「砂や土と仲良し」（3H） 「カラフル色水」（3H） 【コ】・あそびをグループ活動で体験する。 グループ活動で、よりよく遊びを工夫するための意見を出し合い、対話を楽しみながら活動する。 【思】・何度も遊ぶ場を提供する。 何度も遊びに挑戦していく中で疑問や発見を見つけ、よりよい策を考える。 【言】・学びや疑問を記録する。 自分が考えたことを言葉で表すことで、文字と言葉をつなげて考えることができるようにする。					生活科「花や野菜大きくなってね」（6H） 「花や野菜がもっと大きくなったよ」（2H） 「種や実になったね」（7H） 国語科「おおきくなった」（5H） 図工「せんせいあのね」（6H） 【コ】・パーティをする。 育てた野菜を使ったパーティや花の鑑賞会、おし花作りなどの体験を通して、友だちと協力をして取り組めるようにする。 【思】・成長記録をつける。 植物の様子を観察し、成長に基づく変化や、疑問を見つける。 【言】・学んだことを表や新聞にまとめる。 自分が分かったことを言語化することで言葉の意味や使い方を知ることができるようにする。 生活科「たのしいね秋のあそび」（5H） 「ようこそ秋のテーマパークへ」（6H） 国語科「知らせたいな見せたいな」（11H） 算数「形遊び」（6H） 【コ】・新一年生を招待したおもちゃ祭りを開催する。 友だちと協力して作品を作ったり、新一年生への声掛けを考えたりする場面を作る。 【思】・どうやったら楽しんでもらえる活動になるか1年生同士でお試し会を作る。 ルールの変更や、仕掛けの工夫など、それぞれの活動を試してお互いに意見を交流する。 【言】・新一年生への声掛けの仕方について考える。 やさしい声掛けの仕方やサポートの仕方について考える場面を作る。					生活科「もうすぐ2年生」（8H） 国語科「いいこといっぱい1年生」（11H） 学活「ありがとうをつたえよう」（1H） 【コ】・できるようになったことを発表する。 自分の思いをどのような文で伝えたら相手に伝わるか、相手意識を考えながら話す力を鍛えられるようにする。 【思】・できるようになったことや活動をまとめる。 授業で、できるようになったこと、さらに取り組みたいことについて考える活動を取り入れる。 【言】・お互いのいいところを見つけをする。 活動を通して、友だちのよいことを言語化してお互いの自己肯定感を高めるようにする。	
環境構成（人・もの・こと）	○入学当初は、15分モジュールを取り入れるなど、単位時間を柔軟に考えて計画する。 ○学習環境に配慮し、一人一人が安心感を持ち、生活や学習ができるようにする。 ・落ち着ける空間をつくる。 ・机の配置の工夫 ・図書室の活用 ・掲示物の高さ（児童の目の高さを考慮） ・使いやすさを考えた整理整頓の仕方 ・机上の整理（学習用具の位置など） ○1日の生活がスムーズに進められるようにするために視覚支援を大切にする。 ○ブレイルームを活用する。					○係活動やグループ活動を活発化する。 ○お世話をしてくれる6年生のお兄さん、お姉さんの名前や顔を覚え、自分から話しかけたり挨拶やお礼を言ったり楽しく会話をするなど積極的にかかわることができるように支援する。 ○教室から、学校内の他の教室や特別教室など、行動の範囲を広げ、コミュニケーションの範囲を広げる。 ○行事への取組を通して達成感を味わわせ、自信を持たせる。					○姿勢や話の聞き方、話し方、活動の仕方、ルールを守ることなどについて、視点をもって自分の学校での生活を振り返る場を導入し、記録したり言葉で表現したりする方法を段階的に指導していく。 ○年長との交流活動をしくみ、喜ばせる活動を考えさせる。 ○新1年生を迎える準備を通して、進級への喜びや自覚を持たせる。	
園・学校の連携	○指導要録、引継ぎ書による連携 ○個別の児童について、必要に応じて電話等での連携 ○園の先生による読み聞かせ（入学後1カ月）					○こども園の活動を参観（夏季休業中） ○生活科の授業への保育園児の招待。 ○音楽発表会などの学校行事への保育園児の招待。					○新一年生の授業参観と児童、園児の交流	
組織との連携	○前年度引き継ぎ事項の確認を管理職、特別支援コーディネーター、前1年担任と行う。 ○入学式に向けて6年生担任と打ち合わせ。○情緒通級、言葉の教室の担任との連携。 ○身体測定、定期健診に向けて、養護教諭との打ち合わせ。 ○体力テストに向けて、6年生担任との連携をする。					○おもちゃあそびを通して、2年生と連携し、交流する。 ○給食指導と栄養指導を通して、健康や食育に関する関心を高める。					○新一年生を迎えるにあたって、5年生と連携をとる。 ○こども園、保育園、幼稚園の担任と入学前の連携をとる。 ○連携をもとにしたクラス編成を行う。	
家庭との連携	○学年通信で1週間ごとに学校での学習の予定や児童の様子を保護者に伝え、保護者が学校生活への見通しをもち、安心できるようにする。 ○必要に応じて、保護者ボランティアによる協力を依頼する。 ○個人懇談において、成長したところや課題について共通認識をもつ。					○家族とのかかわりや地域とのかかわりを大切にし、保護者が児童と周囲の人とをつなぐ役割を果たせるよう、学習の場を作る。 ○児童への言葉かけや読み聞かせ、音読など、年間を通して継続して行うことの大切さを伝え、各家庭で様子を交流しながら継続して行えるように働きかける。					○学年通信等で子どもたちの成長を伝え、家庭でもしっかり認めてもらう。 ○児童が持ち帰った学習の成果を見て、賞賛の言葉をかけてもらう。 ○入学説明会で来年度に向けて学校の紹介を行い、安心感をもってもらう。 ○新旧に向けた保護者の不安や期待を受け止め、特別コーディネーターと連携し、新担任へ引き継ぐ。	

参考様式①

備考			
----	--	--	--